「千葉県指定無形民俗文化財」

安房国司祭
鶴谷八幡宮例祭

やわたんまち

令和8年9月19日(土)・20日(日)

古くこの安房国の国府・三芳村府中（現在南房総市府中）に総社が創建され、その流れを汲むのが鶴谷八幡宮です。平安時代の末期、諸国で六所宮として各地の神社の神々を、同じ社殿または境内に祠り、国司の重要神事として六所祭を行うようになりました。この頃、安房国では、安房・洲宮・下立松原・手力雄・山宮・山荻・莫越山・木幡の八神社の分霊を祠り六所宮と称し、総社に祠って六所祭を行うようになりました。これが、現在の「安房国司祭やわたのまち」につながっていると言われています。その後、江戸時代には北条地区の山車と新宿のお船、明治から高井の高皇産霊神社が加わり、昭和の始めに、湊の子安神社が加わり、現在のような盛大なおまつりになりました。

山車

- 神明神社・神明町
- 神明神社・三軒町
- 蛭子神社・南町
- 神明神社・新宿（お船）
- 諏訪神社・六軒町

神明神社 神明町（しんめいじんじゃ しんめいちょう）

館山市北条
祭神／天照大御神

●旧北條仲町と旧北條北町が合併してできた神明町、その中央に鎮座している北條村総社が神明神社である。他に白山神社・三島神社・稲荷神社と合わせ4つの神社が鎮座する町内である。旧北條仲町の山車は、「鯉の滝昇り」が躍動的に描かれた分厚い山車幕、令和5年に修繕を催した。彫刻は名匠後藤四天王の一人、後藤義信作、高欄に多くの彫刻がある。人形は八幡神社祭神・応神天皇の母「神功皇后」。

神明神社 三軒町（しんめいじんじゃ さんげんちょう）

館山市北条
祭神／天照大御神

●山車は明治32年、石井熊次郎の建造。平成30年に改修と共に胴幕を新調したもの。人形は「武内宿弥命」。その昔北条町だった頃、南町（現南町）、仲町（現神明町）、北町（現三　軒町）とあって、現神明町が2台の山車を出祭していて三軒町の有志によって北町の山車を借りてお祭りをしていた。昭和32年に三軒町の有志の方々によって北町の山車を譲り受けて、現在に至る。

蛭子神社 南町（ひるこじんじゃ みなみちょう）

館山市北条
祭神／事代主命

●「えびす」とも読める「ひるこ」大神は、商売繁盛・漁業豊漁、五穀豊穣、交通安全の護神。山車は、明治30年に建造され、総体は朱と黒の漆塗り、彫刻は「浦島」を主体にした、竜・松などが躍動的に踊っている。人形は「神武天皇」。

神明神社 新宿（お船）（しんめいじんじゃ しんじゅく）

館山市新宿
祭神／天照皇大神

●新宿のお船は「神明丸」（しんめいまる）と呼ばれており、現在のお船は昭和54年建造の3代目。かつて、汐入川に海が大きく湾入していた頃、八幡神社に出祭する「安房神社」他の南三社の御三神を新宿の「お船」でお渡ししたということに由来している。

諏訪神社 六軒町（すわじんじゃ ろっけんちょう）

館山市北条
祭神／建御名方命
品陀和気命
市杵島姫命

●山車は明治20年代後半に建造されたもので、彫刻は「国分の彫刻師」として有名だった「後藤喜三郎橘義信師」により明治30年に完成。竜虎の他、中国に伝わる孝子物語の3場面が彫られている。「黄金の鳳凰」も特色で、人形は「楠木正成」公。

神輿

- 安房神社
- 鶴谷八幡宮
- 洲宮神社
- 下立松原神社
- 手力雄神社
- 山宮神社
- 山荻神社
- 莫越山神社
- 木幡神社
- 高皇産霊神社
- 子安神社

1 安房神社（あわじんじゃ）

館山市大神宮
祭　神／天太玉命
天比理刀咩命
天富命・天忍日命
例祭日／8月10日

●神武天皇の御代、孫神天富命が沃壌を求めて阿波の忌部氏を率いてこの地へ住み麻穀を蓄殖さしめた。よって忌部氏貫住の所を安房郡と名付け、その鎮護神として太玉命社を建て、のちに安房社と称した。延喜の制名神大社に列し官幣に預かった。平安朝以降安房の国一の宮として、その位置甚だ重く、領主里見氏をはじめ江戸幕府も、それぞれ30石を安堵した。

2 鶴谷八幡宮（つるがやはちまんぐう）

館山市八幡
祭　神／品陀和気命
帯中比古命
息長帯比賣命
例祭日／9月15日

●平安朝の中期に安房国の総社として国府村（今の南房総市府中）に創建された。鎌倉時代に、八幡宮として当地に遷座。武家時代となり、殊に領主里見氏に厚く崇敬するところとなる。明治6年に郷社に、昭和15年に県社に昇格。

3 洲宮神社（すのみやじんじゃ）

館山市洲宮
祭　神／天比理刀咩命
天細女命
天富命
例祭日／8月10日

●神武天皇元年に天富命が勅命を奉じ、魚尾山に奉祀された。当時魚尾山は海辺にあったので、洲神または、洲宮と称された。農業の神。明治6年県社に列す。

4 下立松原神社（しもだてまつばらじんじゃ）

南房総市白浜町滝口
祭　神／天日鷲命
天照大神
高皇産霊神
天太玉命
大麻彦命
他一四柱
例祭日／8月1日

●創建は神武天皇元年。源頼朝公、里見氏の崇敬厚く、徳川氏からも御朱印地を受けていた。

5 手力雄神社（たぢからおじんじゃ）

館山市大井
祭神／天手力雄命
天御中主命
太田命
例祭日／10月9日

●神武元年、忌部族が鎮祭した神社と伝承。「天の岩戸」神話で怪力を示した武神。江戸時代までは、大井大明神の名で尊崇され、里見氏が43石余の社領を寄進すると、徳川幕府もこれに倣った。里見義頼による造営（天正12年）が伝えられる本殿は、三間社流れ造りの檜皮葺で千葉県指定有形文化財。神輿を飾る狛犬は、武志伊八郎信由（波の伊八）の作である。

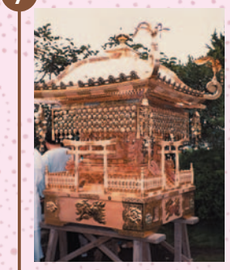
6 山宮神社（やまみやじんじゃ）

館山市長田
祭　神／
大山津見命
例祭日／
9月15日

●白雉年間、摂津の人、中臣幸彦が猛獣や作物の害を除き、生国摂津三島に祠る大山祇命をこの地に勧請した。

7 山荻神社（やもうぎじんじゃ）

館山市山荻
祭　神／稚産霊命
少彦名神
猿田彦神
大己貴神
例祭日／10月17日



●景行天皇53年秋8月に巡幸、五穀豊穣を祈ったと記録されている。穀物の守り神、また幼児の虫封じの神として知られている。明治になり社名を現在のものに。

8 莫越山神社（なこしやまじんじゃ）

南房総市沓見
祭神／手置帆負命
彦狭知命
彦火々出見尊
他七柱
例祭日／7月9日

●当社は「延喜式神明帳」所載の安房国六座の一である。延喜の制には式内小社に、大化の制には国司の祭祀にあずかる。

9 木幡神社（こはたじんじゃ）

館山市山本
祭　神／
正哉吾勝速日天
忍穂耳尊
栲幡千々姫命
天津彦火瓊々杵尊
例祭日／10月10日

●景行天皇53年冬10月の創立という。後三条院の御時、はじめて鏡浦に放生会+として神輿出御、現今、八幡宮出祭の神輿渡御祭が行われている。

10 高皇産霊神社（たかみむすびじんじゃ）

館山市高井
祭　神／高皇産霊神
例祭日／9月14日

●創立年代不詳。明治6年に村社に列格。明治の初頃より、安房国司祭に参加し、今日に至る。

11 子安神社（こやすじんじゃ）

館山市湊
祭神／豊玉姫命
彦火火出見命
うがや葺不合命
例祭日／9月15日

●創立養老3年と伝えられる。領主里見氏の崇敬社で、安産の神として知られる。もともと子安神社と称され、明治6年に湊神社、近年また子安神社と改められた。

発行：八幡祭礼マップ作成委員会　企画制作：有限会社コアコミュニケーション　写真提供協力：全日本写真連盟館山支部